

2023 年度 経済・経営学会学生研究助成

報告書

経営学部 教授

五十畑浩平

五十畑ゼミでは今年度より、本学の「学びのコミュニティ創出支援事業」の一環として、「産学連携によるキャリア教育教材ゲームの共同開発」に取り組んでいます。これは、キャリア理論の観点を生かして、各種性格診断などを分析し、それらをもとに楽しみながら自己理解できる教材ゲームを、連携企業と協力しながら産学連携で開発することをめざすものであり、今年度は東京にある協力会社（ソフィア社）とともに、開発を進めてきました。

こうした取り組みを進めるなかで、専門ゼミの授業に本事業のソフィア社の社員の方を講師に招き、「インターナルコミュニケーションとインクルージョン経営」に関する講演を開催しました。コミュニケーションに関する課題が山積するなか、社内でのインターナルコミュニケーションが注目を浴びていることや、多様性の推進や組織改革にこそ、インターナルコミュニケーションが欠かせないことなどを学びました。受講生からは、「インターナルコミュニケーションの存在を知ることができた」、「企業内の働き方の変化や、様々な多様性が生まれている中で、インターナルコミュニケーションが重要になっていることがわかりました」といった声が多く寄せられ、たいへん学びの多い時間を過ごすことができました。

また、学生との顔合わせや共同開発に向けての打ち合わせを行うとともに、すでにソフィア社で使用されているゲームを体験しました（写真参照）。今後のゲーム開発にあたり、問題や今後の方策について共有するよい機会となっただけでなく、参加学生自身の自己理解を深めたり、学生同士の他己理解を深める機会ともなりました。



一方で、より綿密な打ち合わせを行うためには、オンラインでの打ち合わせも欠かせません。対面の合間を縫って、折に触れ、ソフィア社との打ち合わせをオンラインで行ってきました。なお、本年度は、こうしたオンラインでの打ち合わせを円滑にするための環境を、本助成によって整えてきました。この場を借りて御礼申し上げます。

この事業は次年度も引き続き行う予定であり、今後とも、対面での交流はもとよりオンラインでの打ち合わせにおいて、議論を密に重ね、目的である教材ゲームの開発を進めていきたいと考えています。